



災害に出動する車両の運転席をのぞいてみよう！

救助工作車（Ⅱ型）

救助工作車Ⅱ型は、交通事故や倒壊家屋、山岳での遭難など様々な救助現場で活動を行うための車両です。ウインチやクレーン、照明が車体に装備され、大型の油圧スプレッダー・カッター、画像探索機、山岳救助資機材など人命救助に必要な資機材がたくさん積載されています。



【中央部】



中央パネルの下部には、メインスイッチや投光器などに動力を切り替えるスイッチなどがあります。

【運転席】



ハンドル左側下部には、ウインチやクレーンを使用するための動力切り替えスイッチなどがあります。



中央コンソールには、無線機や赤色灯・サイレンのスイッチの他に照明のスイッチなどがあります。



ハンドル右側下部には、非常用PTO（動力切り替えスイッチ）や出動時のアナウンススイッチなどが配置されています。



後部座席には、前々号（広報常陸大宮 No.212）の水槽付消防ポンプ自動車と同様の空気呼吸器のほかに、山岳救助や高所での活動に必要なハーネスが積載されています。